

とびっきい!

盛岡信用金庫 コレクション展

省三・紅子の作品を中心に



10



保存建造物指定
盛岡信用金庫本店

現盛岡信用金庫本店は盛岡市の景観重要建造物指定となっており、鉄筋コンクリート造を主体構造に、正面にそびえる6本の太い列柱、装飾が施された花崗岩の白壁は、町に溶け込みながらも圧倒的な存在感を持っています。



3



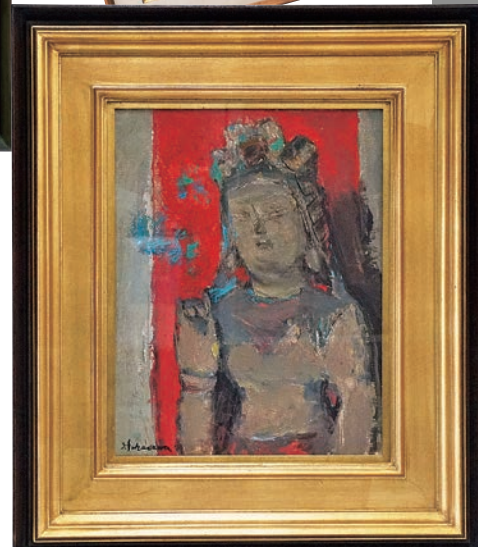
1

■ 出品者一覧 ■

- | | | | |
|---|----------|-------|----|
| ① | 木立 (軽井沢) | 深沢省三 | 油彩 |
| ② | 仏像 | 深沢省三 | 油彩 |
| ③ | 山百合など | 深沢紅子 | 油彩 |
| ④ | 蘭 | 深沢紅子 | 油彩 |
| ⑤ | 岩木山 (赤) | 橋本八百二 | 油彩 |
| ⑥ | 桐の花 | 橋本八百二 | 油彩 |
| ⑦ | 花 | 奈知安太郎 | 油彩 |
| ⑧ | 剣・八ッ峰 | 吉田清志 | 油彩 |
| ⑨ | 教会のある町 | 小笠原哲二 | 油彩 |
| ⑩ | ばら | 福田一郎 | 油彩 |



4



2



9



5



7



6

深沢紅子 野の花 美術館

〒020-0885 岩手県盛岡市紺屋町4-8 TEL: 019-625-6541 FAX: 019-625-6533
E-mail: nonohana@bz03.plala.or.jp

入館料 / 大人 500円 (団体 20名以上 400円) / 高・大生 300円 / 小・中生 200円
開館 / 10:00 ~ 17:00 (最終日は 15:00 まで) 休館日 / 月曜日 (祝祭日の場合はその翌日)

■後援: 盛岡市 ■協力: 深沢家



野の花美術館を応援しております

とびきり!

＊省三・紅子の

作品を中心に＊

会期 2024 4月27日(土)～8月20日(火) 最終日は3時まで

盛岡信用金庫

コレクション展

保存建造物指定

保存建造物指定
盛岡信用金庫本店
(旧 盛岡貯蓄銀行)
指定番号 第10号
昭和交年12月20日指定
この建物は昭和2年に旧盛岡貯蓄銀行が銀行店舗として建てたもので、花崗岩の彫刻や石彫のアクセント等昭和初期のモダンな表現と近代デザインの調和を寓している。
盛岡市



歴代組合長・理事長



初代組合長
高橋 伊兵衛
明治36年2月22日～
昭和9年12月3日



二代組合長
赤澤 亦吉
昭和9年12月3日～
昭和15年12月27日



三代理事長
澤野 房次郎
昭和18年3月3日～
昭和39年4月18日



四代理事長
伊藤 仁助
昭和39年5月6日～
昭和61年4月28日



盛岡信用金庫は創業121年を迎えて岩手では最も古い銀行ですが、明治32年、35年と続く凶作、窮状を見かねて商店主達が発起人となり生まれたのが信用組合です。昭和6年の銀行パニックでは、次々に銀行が破綻する。信用組合は県庁から澤野房次郎氏を迎える。彼は近代化に21年間手腕を発揮する。昭和の時代となり、澤野に乞われて伊藤仁助氏が入庫。銀行パニックを乗り越え生き残った事実、ことに役員は自信を深め、利用者の信頼度も高まった。澤野亡き後、

伊藤仁助が昭和39年から理事長。この頃盛岡には昭和2年に盛岡出身の建築家、葛西萬治が手がけた銀行を目的とした堂々たる建物が残っており、正面は六本の巨大な石柱がそびえ、中はステンドグラスなど昭和の初期のモダニズムが表現され、内装はアールデコ様式の手の込んだ作りです。銀行になるはずの建物は、銀行パニックによって、引き取り手のない建物になっておりました。建物の魅力を知る伊藤はゆずり受け移転をする。内部を飾る絵画、彫刻等々の蒐集に力を入れ現在に到りました。これは後の美術館構想への自然な成りゆきと考えます。
(この文章は盛岡信用金庫90年のあゆみを参考にいたしました。)



⑧剣・八ツ峰 吉田清志 1階展示

深沢紅子 野の花 美術館

〒020-0885 岩手県盛岡市紺屋町4-8 TEL: 019-625-6541 FAX: 019-625-6533
E-mail: nonohana@bz03.plala.or.jp

入館料 / 大人 500円 (団体 20名以上 400円) / 高・大生 300円 / 小・中生 200円
開館 / 10:00～17:00 (最終日は15:00まで) 休館日 / 月曜日 (祝祭日の場合はその翌日)
■後援: 盛岡市 ■協力: 深沢家